事業所整備計画

１　財務状況

　⑴　既設法人

　<貸借対照表>

|  |  |
| --- | --- |
| 勘定科目 | 過去３か年の決算状況（千円） |
| 令和４年度 | 令和５年度 | 令和６年度 |
| 資産の部　　　　 |  |  |  |
|  | 流動資産 |  |  |  |
|  | 固定資産 |  |  |  |
|  | 繰延資産 |  |  |  |
| 負債の部　　　　 |  |  |  |
|  | 流動負債 |  |  |  |
|  | 固定負債 |  |  |  |
| 純資産の部 |  |  |  |
| 　 | 資本金 |  |  |  |
|  | 利益剰余金 |  |  |  |
| 負債及び純資産の部 |  |  |  |

　<損益計算書>

|  |  |
| --- | --- |
| 勘定科目 | 過去３か年の決算状況（千円） |
| 令和４年度 | 令和５年度 | 令和６年度 |
| 営業利益 |  |  |  |
| 経常利益 |  |  |  |
| 当期純利益 |  |  |  |

　⑵　新設法人

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 借入 | 借入先 |  | 借入額 | 千円 |
| 借入先 |  | 借入額 | 千円 |
| 借入先 |  | 借入額 | 千円 |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 資産総額（不動産＋当初運転資金） | 負債総額（借入） | 差引正味額（資産総額－負債総額） |
| 千円 | 千円 | 千円 |

２　整備資金及び運営費の見込み

⑴　整備資金

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 必要額 | 千円 | 必要額の内訳 |
| 土地購入費 | 千円 |
| 自己資金額 | 千円 | 建物建設費 | 千円 |
| 什器備品費 | 千円 |
| 借入額 | 千円 | 事業開始前の人件費 | 千円 |
| その他 | 千円 |

⑵　運営費

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 収入支出額 | 内　　　　　訳 | 利用者見込数 |
| 整備後２か月間 | 収入 | 千円 | 介護報酬 | 千円 | 人 |
| 利用料収入 | 千円 |
| その他 | 千円 |
| 支出 | 千円 | 人件費 | 千円 |
| その他 | 千円 |
| 整備後６か月間 | 収入 | 千円 | 介護報酬 | 千円 | 人 |
| 利用料収入 | 千円 |
| その他 | 千円 |
| 支出 | 千円 | 人件費 | 千円 |
| その他 | 千円 |
| 整備後１年間 | 収入 | 千円 | 介護報酬 | 千円 | 人 |
| 利用料収入 | 千円 |
| その他 | 千円 |
| 支出 | 千円 | 人件費 | 千円 |
| その他 | 千円 |
| 整備後３年間 | 収入 | 千円 | 介護報酬 | 千円 | 人 |
| 利用料収入 | 千円 |
| その他 | 千円 |
| 支出 | 千円 | 人件費 | 千円 |
| その他 | 千円 |

３　事業所の所有関係

⑴　土地

|  |  |
| --- | --- |
| 所有関係 | □自己所有（予定を含む）　　□借地 　 □その他（　　　　　　　　　）※　事業計画書提出後に、本市職員が整備予定地の現地調査を行いますので、あらかじめ現在の土地の所有者の承諾を得て、別紙5の「土地立入承諾書」を提出してください。 |
| 現　　況 | (例)　住宅の敷地（住宅は取り壊し予定）、駐車場 |
| 現所有者(自己所有以外の場合) | 所有者名：住　　所： |
| 賃借契約期間(予定を含む) | 令和　　　年　　　月　～　令和　　　年　　　月□　定期借地権　　　　年　　　　　□　その他の借地権　 |

⑵　建物

|  |  |
| --- | --- |
| 所有関係 | □自己所有（予定を含む）　　□借家　　　□その他（　　　　　　　　　） |
| 現　　況(新築は記入不要) | ※　既存建物の場合は現在の状況を記入してください　(例)　空店舗 |
| 現所有者(自己所有以外の場合) | 所有者名：住　　所： |
| 賃借契約期間(予定を含む) | 令和　　　年　　　月　～　令和　　　年　　　月 |

４　整備予定地

　⑴　所在地

　広島市　　　　区　　　　町　　　　番

　　　※　土地の登記地番を記入してください。複数の地番がある場合はすべて記入してください。

　⑵　敷地面積等

|  |  |
| --- | --- |
| 敷地面積　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　Ａ | ㎡　 |
| 建築面積　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　Ｂ | ㎡　 |
| 法令上建築できる建築面積　　　　　　　　　　　　 | ㎡　 |
| Ｂ÷Ａ×１００ | ％　 |
| 延べ床面積 | ㎡　 |

　　※　少数点第２位を四捨五入して記入してください。

⑶　地元説明実施状況

　　　□　実施済（□　調整事項あり　□　調整事項なし）

　　　※　[別紙６]「地元説明報告書」に詳細を記入してください。

⑷　整備予定地の状況（都市計画法、建築基準法等）※

|  |  |
| --- | --- |
| ①　区域区分・用途地域・地区計画 |  |
| ②　建ぺい率 | 　　　　　　％ |
| ③　建物高さ制限 | 　　　　　　ｍ |
| ④　防火指定 | □有　・　□無 |
| ⑤　取付道路の有無 | □有　・　□無 |
| ⑥　敷地に面している道路の数 | 　　　　　　か所 |
| ⑦　前面道路幅員 | 　　　　　　ｍ |
| ⑧　前面道路の状況 | □二方向通行可　　□一方通行　　□車両通行困難 |
| ⑨　登記地目 |  |
| ⑩　駐車場面積 | 　　　　　　㎡ |
| ⑪　駐車台数 | 　　　台来客用　　　台、業務用　　　台、職員用　　　台うち、障害者用　　　台 |
| ⑫　敷地造成及び開発行為の必要性の有無 | □有　・　□無（許可番号及び年月日：　　　　　　　　　　　　） |
| ⑬　権利設定状況の有無 | □有　・　□無　設定されている権利（　　　　　　　　　　　　　　　　）　抹消の見込み　（　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| ⑭　急傾斜地崩壊危険区域の指定等の有無 | ・急傾斜地崩壊危険区域に指定　　　 □有　・　□無・土砂災害警戒区域及び土砂災害特別警戒区域に所在　　　 □有　・　□無 |
| ⑮　洪水浸水想定区域の指定の有無 | □有　・　□無有の場合　避難確保計画添付　　□有　・　□無 |
| ⑯　その他規制の有無　 | □有　・　□無有の場合は今後の見込：　　　　　　　　　　　　　　　 |

※　整備予定地の状況で、今後手続き等が必要と見込まれる項目については、現状及び今後の見込みについて記入してください。また、必要に応じて確認できる資料（確約書や許可書など）を添付してください。

　５　整備予定建物

⑴　□　耐火構造　　　　□　準耐火構造　　　　□　その他（　　　　　　　　）

　　　構造　　　　　　　　　　　　　　　造　地上　　階建　　地下　　階建

　　　（うち、　　　　階部分を当該事業所として使用）

⑵　規模　　延床面積　　ＧＨ　　　　　　　㎡　（建物全体　　　　　　　㎡）

⑶　整備予定建物の配置状況（認知症高齢者グループホーム以外の施設（事業所）を併せて整備する場合は記入してください。）

　　(例) １階に小規模多機能型居宅介護、２階に認知症高齢者グループホーム、３・４階にサービス付き高齢者向け住宅を同一建物内に整備する。

|  |
| --- |
|  |

⑷　ユニットの状況

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| Ａユニット | 居間及び食堂 | 　　㎡　 |
| 居　　　室 | 最大室の面積　　　　　　㎡、最小室の面積　　　　　㎡各居室の平均面積　　　　㎡（小数点第2位以下を切捨て）　  |
| 浴　　　室 | 個別浴槽の設置　　□　あり　　　　　　□　なし浴槽の周囲の介護スペース数（　　　　か所） |
| トイレ | 　　　　か所設置うち、車椅子用トイレの設置状況　　　　　か所簡易シャワーの設置　　　　　□　あり　　　　　　□　なし洗浄器（汚物流し）の設置　　□　あり　　　　　　□　なし |
| その他 | （相談室　　　　　　㎡、事務室　　　　　　㎡） |
| Ｂユニット | 居間及び食堂 | 　　　　　　　　　㎡　 |
| 居　　　室 | 最大室の面積　　　　　　㎡、最小室の面積　　　　　㎡各居室の平均面積　　　　㎡（小数点第2位以下を切捨て）　  |
| 浴　　　室 | 個別浴槽の設置　　□　あり　　　　　　□　なし浴槽の周囲の介護スペース数（　　　　か所） |
| トイレ | 　　　　か所設置うち、車椅子用トイレの設置状況　　　　　か所簡易シャワーの設置　　　　　□　あり　　　　　　□　なし洗浄器（汚物流し）の設置　　□　あり　　　　　　□　なし |
| その他 | （相談室　　　　　　㎡、事務室　　　　　　㎡） |

　　　※　面積は有効面積で記載し、有効面積が面積基準を上回ること

　　　 ※　３ユニットで応募する場合は、上表から１ユニット分をコピーし、「Ｃユニット」分を追加して「ユニットの

状況」を記載してください。なお、例えば、全く同じユニットであれば、「Ｂ・Ｃユニット」と記載いただいて

も構いません。

６　整備予定地・整備予定建物に係る状況

| 整備予定地 |
| --- |
| 道路・交通　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　公共交通機関　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　□　ＪＲ　　　　　　　　　駅より　　距離(道のり)　　　　ｍ　　運行間隔　約　　分□　市内電車　　　　　　　駅より　　距離(道のり)　　　　ｍ　　運行間隔　約　　分□　ｱｽﾄﾗﾑﾗｲﾝ　　　　　　　駅より　　距離(道のり)　　　　ｍ　　運行間隔　約　　分□　バス　　　　　　　　　線　　　　　　バス停より　　距離(道のり)　　　　ｍ　　運行間隔　約　　　分□　その他　（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）※　運行間隔は、昼間（９時から１７時まで）に平均何分ごとに整備予定地へ運行しているか記入してください。※　該当する公共交通機関について記入してください。 |
| 周辺状況　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　⑴　環境　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　※　整備予定地周辺の交通や騒音の状況等について記載すること。⑵　洪水浸水想定区域の指定の有無　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　※　整備予定地が洪水浸水想定区域の指定があれば、避難確保計画を添付してください。○　指定の有無　　　　　　　　　　　□有　・　□無・有の場合　避難確保計画添付　　　□有　・　□無・有の場合　水害対策に資する設備の設置について以下に記載すること。⑶　生活の場　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　※　整備予定地周辺（整備予定地から500ｍ以内（道のり））の商業施設、文化施設、娯楽施設等の状況について記載すること。※　徒歩又は車いすによる外出の機会を促進する生活環境かどうか記載すること。 |
| 面積・日照等　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　⑴　日照　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　⑵　風通し　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 |

| 整備建物 |
| --- |
| 安全・健康面等への配慮　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　⑴　避難経路　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　※　避難経路を平面図に明示するとともに、経路途中の段差の有無を記載すること。その他、消防法その他法令等の基準に基づく設備等に加え安全の確保に対する取組があれば具体的に記載すること。○　避難経路・１階に段差を越えることなく屋外の安全な場所に避難できる経路　　　　　　　　　　か所・居間及び食堂の窓が掃き出し窓となっており、直接屋外へ避難可　　　　　　　　可・不可・避難経路の幅員　　　　　　ｍ⑵　安全面　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　□　利用者の動線や動作に応じた手すりを設置□　玄関に、靴を脱ぐ際の腰掛ベンチを設置□　駐車場又は敷地出入口から玄関までの動線の段差の解消を図る・駐車場又は敷地出入口から玄関までの動線の有効幅員　　　　　　　　ｍ○　消防法その他の法令等の基準に基づく非常用照明、利用者のための食糧備蓄等、災害時への備えに関する取組○　建物周辺の舗装等に濡れても滑りにくい材料を使用し、歩行の安全や車いす等の利用に配慮　　※　素材名、使用する箇所、配所した内容などを具体的に記載すること。○　転倒防止や職員の身体の負担軽減に配慮した床材を使用※　素材名、使用する箇所、配所した内容などを具体的に記載すること。⑶　衛生管理　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　※　玄関に手洗い場を設置する場合は平面図に明示すること。□　玄関に手洗い場を設置 |
| ユニット　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　⑴　ユニット　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　○　利用者が快適に過ごせるような環境づくり（採光、照明、通風、景観など）○　食事をおいしく食べられる環境づくり（利用者の状態に合ういすやテーブルの準備等）○　居室と共同生活室の配置について |
| 水回り空間　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　⑴　トイレ設備　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　○　清掃・臭い対策（具体的に記載すること。）⑵　浴室　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　○　浴槽について利用者の入りやすさのために重視した点（具体的に記載すること。） |

| 独自の取組 |
| --- |
| 整備建物における独自の取組（※任意記載欄）　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　※　特筆すべき独自の取組がある場合は記載すること。○　建物の特質（広島県産の木材の使用など）○　安全・健康面等への配慮（シックハウス対策・衛生管理への配慮など）○　ユニット○　水回り空間 |

７　スケジュール

　⑴　着工予定年月日　　令和　　年　　月　　日

　⑵　竣工予定年月日　　令和　　年　　月　　日

　　　（工事予定期間：　　年　　か月）

　⑶　事業開始予定日　　令和　　年　　月　　日（令和９年度末までとします。）

８　担当者

　　事業計画書作成担当として下記の者を指定します。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| （ふりがな）担当者名 | 　　　　　　　　　　　　　　　　　 | 所属(役職) | 　　　　　　　　　　　　　　（　　　　　　） |
| 連絡先 | 住　　所 |  |
| 電　　話 |  | ＦＡＸ |  |
| 電子メール |  |